

向こう1か月の天候の見通し

近畿地方（10月21日～11月20日）

大阪管区気象台

予報のポイント

- 前線や湿った気流の影響で、太平洋側を中心に、向こう1か月の降水量は多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。
特に、期間のはじめは、台風第21号の影響も加わり、引き続き、日照時間が少なく、降水量の多い状態となる見込みです。
- 暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の気温は高い見込みです。

1か月の平均気温・降水量・日照時間

		平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
近畿	日本海側	低 20 並 30 高 50% 高い見込み	少 10 並 40 多 50% 多い見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少 10 並 30 多 60% 多い見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない見込み



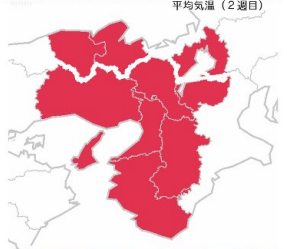




週別の天候

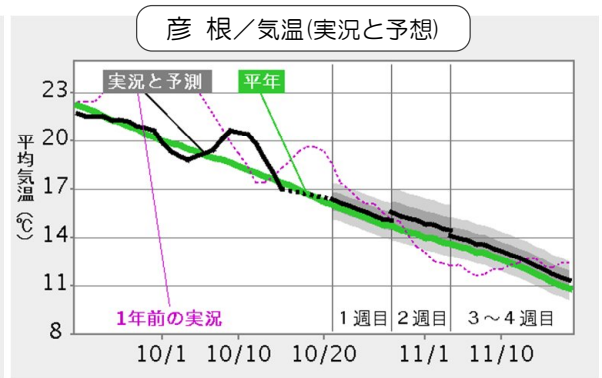
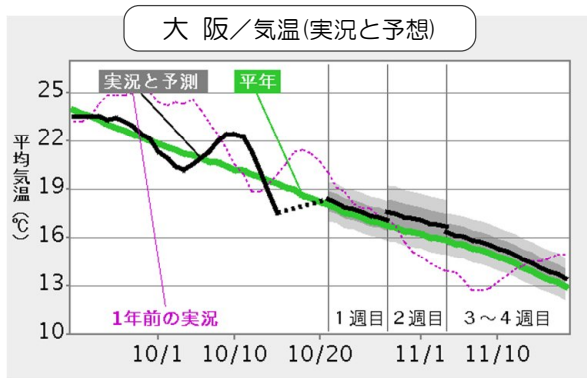
(1 週目) 10/21～27	(2 週目) 10/28～11/3	(3～4 週目) 11/4～17
<p>前線や湿った気流の影響で、曇りや雨の日が多い見込みです。</p> <p>なお、台風第21号の影響を、大きく受けるおそれがあります。</p>	<p>日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。</p> <p>太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。</p>	<p>天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。</p>

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<http://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。


季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

	平均気温（1週目） 10/21～27	平均気温（2週目） 10/28～11/3	平均気温（3～4週目） 11/4～17
近畿地方	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
 数値は予想される 出現確率です	 平均気温（1週目）	 平均気温（2週目）	 平均気温（3～4週目）
			



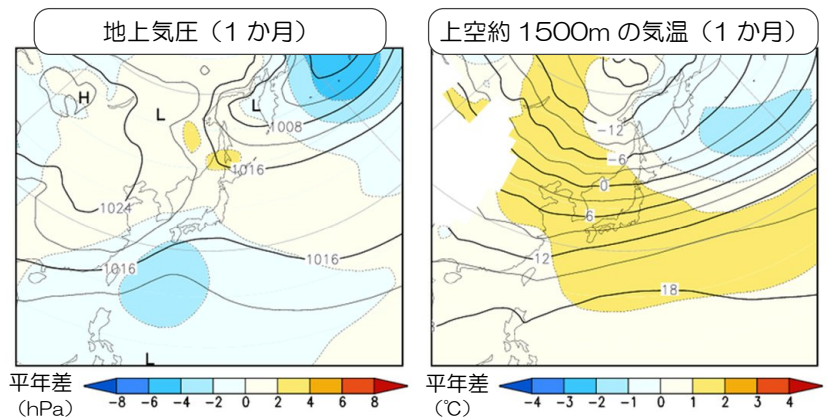
ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、
気象庁ホームページ
<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php>
で公開しています。

 予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は7日平均気温です。

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、北日本を中心に平年より高くなっており、この付近を移動性高気圧が通過しやすい予測となっています。一方、本州から日本の南海上を中心に平年より低く、東・西日本や沖縄・奄美は前線や湿った気流の影響を受けやすい予測となっています。

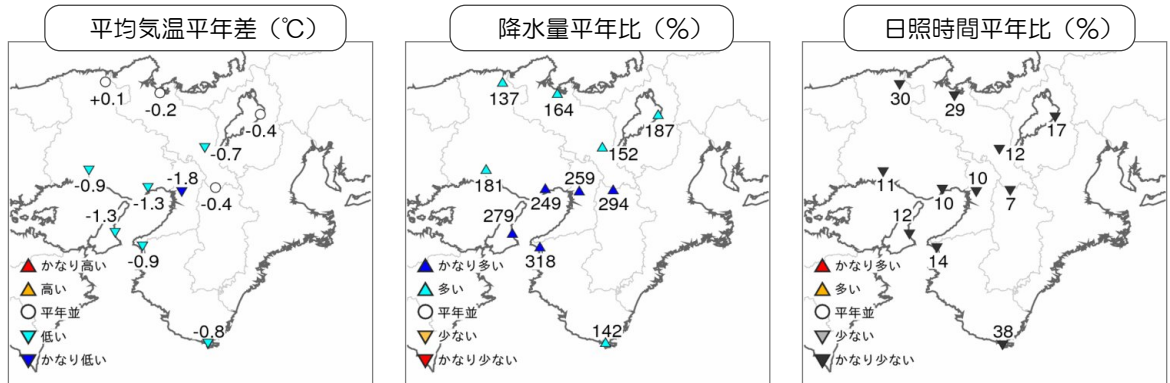
上空約1500mの気温（右図）は、大陸から日本付近で平年より高くなっており、日本付近は寒気の影響を受けにくい予測となっています。一方、千島の東からアリューシヤンの南にかけては平年より低くなっています。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況） 10/12~18

本州南岸に停滞した秋雨前線や南からの湿った気流の影響で曇りや雨となり、大雨となった所がありました。



(実況) 10/12~18		平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
近畿	日本海側	-0.8℃ (低い)	163% (多い)	25% (かなり少ない)
	太平洋側		234% (かなり多い)	14% (かなり少ない)

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
近畿地方	平年差: -0.1~+0.7℃	平年差: -0.6~+0.6℃	平年差: -0.4~+0.8℃	平年差: -0.5~+0.8℃
彦根	13.5~14.3℃	15.0~16.1℃	13.9~15.0℃	12.0~13.2℃
大阪	15.6~16.4℃	16.9~18.0℃	15.8~17.2℃	14.1~15.3℃

	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
近畿日本海側	平年比: 76~106%	平年比: 95~107%
近畿太平洋側	平年比: 65~104%	平年比: 94~107%
彦根	58.3~91.6mm	125.6~149.2 時間
大阪	41.8~74.0mm	133.8~156.7 時間

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
彦根	16.1 日	7.7 日	4.4 日	1.9 日	4.2 日	2.0 日	7.4 日	3.8 日
大阪	17.4 日	5.9 日	4.4 日	1.6 日	4.5 日	1.5 日	8.5 日	2.8 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の4.0%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率 (低い(少ない):平年並:高い(多い))	解 説
高い(多い) 確率が 50%以上	高い(多い) 見込み
(20:40:40)	平年並が高い(多い) 見込み
平年並の確率が 50%以上	平年並の見込み
(40:30:30) (30:40:30) (30:30:40)	ほぼ平年並の見込み
(40:40:20)	平年並が低い(少ない) 見込み
低い(少ない) 確率が 50%以上	低い(少ない) 見込み